

名古屋市における道路整備の計画について 【改訂版】



名古屋市

目 次

I	総論	1
II	道路事業における基本方針	2
III	基本方針に資する主な事業中箇所	13
IV	指定都市高速道路事業	62

I 総論

1 計画策定の趣旨

道路事業においては、現下の社会経済情勢を踏まえた戦略的・計画的な取組が求められていることや、今般、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による国費率のかさ上げ措置が2018年から10年間継続されたことも併せて、より一層計画的かつ効率的に取り組むことが重要です。

そうした背景の中、名古屋市では市の総合計画である「名古屋市総合計画2028」においてまちづくりの方向性を明確化するとともに、本市のめざす都市像を実現するために取り組む施策等を明示しております。

本計画は、そのうち総合計画における道路事業等に関するものに着目し、それらの基本方針や実施状況について明示したものになります。

2 対象の期間

2018年～2027年までの10年間

なお、本計画は予算や事業の進捗等を踏まえて、随時見直しを行う予定です。

2019年3月	策定
2020年3月	改訂
2021年3月	改訂2版
2022年3月	改訂3版
2023年3月	改訂4版
2024年3月	改訂5版
2025年3月	改訂6版
2026年3月	改訂7版

Ⅱ 道路事業における基本方針

基本方針 1 災害に強い都市基盤の整備を進めます (名古屋市総合計画 2028 施策 18)

(1) 施策の柱

・地震に強い都市基盤の整備

南海トラフ地震などの大規模地震に備え、市設建築物や橋りょう、地下鉄構造物、上下水道施設、河川・排水施設などの都市基盤施設の耐震化に取り組みます。特に緊急輸送道路においては、橋りょうの耐震化や電線類の地中化を推進し、災害時の機能確保を進めます。

(2) 現状と課題

・近年、本市では大規模地震による被害は生じていませんが、南海トラフ地震の発生確率は、今後 30 年以内に 70～80%、40 年以内に 90%程度と切迫度を増しています。大規模地震発生時の被害を抑えるため、行政による一層の都市基盤施設の耐震化が求められています。

(3) 施策を推進する事業

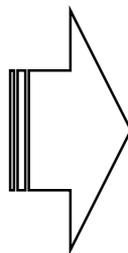
① 地震に強い都市基盤の整備

・橋りょうの耐震化

災害時における緊急車両・物資の輸送ルートを確保するため、緊急輸送道路等の橋りょうの耐震補強や改築を実施



東山橋（整備前）



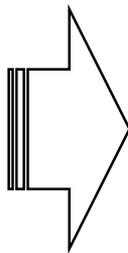
東山橋（整備後）

- 電線類の地中化

災害時における緊急輸送道路・避難空間の確保や消火・救助活動の円滑化のため、電線共同溝等による電線類の地中化を実施。



名古屋環状線（整備前）



名古屋環状線（整備後）

基本方針 2 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます (名古屋市総合計画 2028 施策 22)

(1) 施策の柱

・交通事故のない地域づくり

交通安全教室・教育の実施や、交通事故危険か所及び通学路等の交通安全対策を進めるなど、ソフト・ハードの両面から取り組みを進めます。

(2) 現状と課題

- ・交通死亡事故の多くが、ドライバーの交通ルール違反が原因であり、死亡事故に占める高齢者の割合は高く、子どもが巻き込まれる事故も発生しています。そのため、交通事故発生の原因や実態に即した対策を行うとともに、安全運転意識の向上を図り、高齢者や子どもが被害者とならない対策が必要です。

(3) 施策を推進する事業

① 交通事故のない地域づくり

・交通事故危険か所の交通安全対策

交通事故を無くすため、道路の状況や過去の事故の形態に応じて、道路のカラー化等の交通安全対策を重点的に実施するとともに、事故データ等をもとに状況を分析し、ラウンドアバウト等の新たな交通安全対策を検討・実施



栄交差点（整備前）



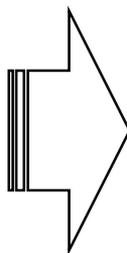
栄交差点（整備後）

- 通学路等安全対策の実施

通学路等の安全を確保するため、道路管理者、交通管理者及び学校関係者等が通学路等を点検し、交通安全対策を実施



平田小学校（整備前）



平田小学校（整備後）

基本方針3 持続可能な公共交通の実現と、ウォーカブルなまちづくりを進めます (名古屋市総合計画2028 施策26)

(1) 施策の柱

- ・まちのにぎわいを創出するウォーカブルなまちづくりの推進

官民のパブリック空間などの既存ストックを、両者が連携し、新たな魅力や価値を生み出す地域資源として活用することで、まちの回遊性やにぎわいを面的に広げ、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなかを形成します。

(2) 現状と課題

- ・有効活用されていない官民の既存ストック（ゆとりのある道路空間、公開空地等、既存建物の低層部の空き店舗など）が存在し、回遊性やにぎわいが不足している地区があります。官民連携の取り組みにより、既存ストックを活用し、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルなまち」をめざしていくことが必要です。

(3) 施策を推進する事業

① まちのにぎわいを創出するウォーカブルなまちづくりの推進

- ・居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなかの形成

まちの回遊性やにぎわいを面的に広げ、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなかを形成するため、官民連携の取り組みによる基本方針等を示すウォーカブル戦略を推進し、道路、空き店舗、公開空地等の官民のパブリック空間を新たな魅力や価値を生み出す地域資源として活用する取り組みを実施

ウォーカブルなまちのイメージ



基本方針４ 良好な都市基盤が整った生活しやすいまちづくりを進めます (名古屋市総合計画２０２８ 施策２５)

(１) 施策の柱

・市街地の整備・再生

土地区画整理事業や市街地再開発事業により、市街地の整備・再生を推進します。また、道路・河川・公園などについて、適切な維持管理や更新などの整備を行い、安心・安全で持続可能な都市基盤を提供します。

・自動車交通の円滑化

機能的な都市活動と安心・安全な市民生活を確保するため、都市計画道路の整備を進めるなど、自動車交通の円滑化に取り組みます。

(２) 現状と課題

- ・都市基盤の整備が不十分な地域や、都市機能の更新が必要な地域においては、市街地の整備・再生を推進し、老朽化が進行する公共土木施設に対しては、適切な維持管理・更新を行うことにより安心・安全で持続可能な都市基盤を提供し、新たな魅力を創出する必要があります。
- ・幹線街路の整備状況は高い水準ですが、地域によっては整備の遅れや渋滞が見られます。引き続き、事業未着手の都市計画道路の見直しを行うとともに、都市計画道路の整備や道路と鉄道の立体交差化などにより、自動車交通の円滑化を図る必要があります。

(３) 施策を推進する事業

① 市街地の整備・再生

・土地区画整理事業の推進

道路や公園などの都市基盤が十分に整っていない地域において、公共施設の整備改善や宅地の利用増進をはかるため、土地区画整理事業を推進。

・市街地再開発事業の推進

名鉄鳴海駅周辺において、居住環境を改善し、地区の活性化をはかるため、公共施設や商業・業務施設、住宅施設等を整備。

・公共土木施設の適切な維持管理・更新の推進

都市基盤である道路、河川、公園などの公共土木施設を健全な状態に保つことで、市民に安心・安全で持続可能な魅力のある都市環境を提供するため、施設の特性に応じた適切な維持管理や更新を実施

② 自動車交通の円滑化

・都市計画道路の整備

交通の円滑化や機能的な都市活動と安全・安心な市民生活を確保するため、都市計画道路の整備を推進。



小幡西山線（整備前）



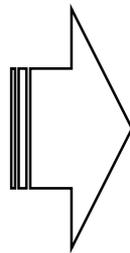
小幡西山線（整備後）

・道路と鉄道の立体交差化の推進

地域分断の解消や交通の円滑化のため、道路と鉄道の立体交差化を推進。



名鉄名古屋本線（整備前）



名鉄名古屋本線（整備後）

・橋りょうの整備

地域分断や渋滞の解消など交通の円滑化のため、都市計画道路等の橋りょうの新築、改築を実施



三階橋（整備前）



三階橋（整備後）

基本方針5 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します (名古屋市総合計画2028 施策27)

(1) 施策の柱

- ・安心して歩ける歩行空間の確保と自転車通行空間の整備

放置自転車の撤去や自転車駐車場の整備、柔軟な料金制度の採用による自転車駐車場の利用促進などにより、安心して歩ける歩行空間を確保するとともに、自転車を安全で快適に利用できるよう、自転車通行空間の整備を進めます。

- ・都心部自転車対策の推進

都心部において、地域と連携し啓発活動等の放置自転車対策を実施するとともに、自転車の所有から共有への転換による放置自転車の台数削減や、まちの回遊性向上などが期待できるコミュニティサイクルの普及促進を図ります。

(2) 現状と課題

- ・一部地域において、依然として多くの自転車が放置されています。また、令和4年の市内で発生した全交通事故に占める自転車関連事故の割合は、全国の割合よりも高くなっています。そのため、放置自転車の撤去などにより、歩行空間の確保を進めるとともに、安全で快適な道路環境づくりを進める必要があります。
- ・本市都心部では、自転車等放置禁止区域の拡大や自転車駐車場の有料化等を実施しており、放置自転車は減少傾向にあるものの、依然として都心部での問題となっています。引き続き、自転車利用者等への啓発活動や、コミュニティサイクルの普及促進により、都心部における放置自転車対策を進める必要があります。

(3) 施策を推進する事業

① 安心して歩ける歩行空間の確保と自転車通行空間の整備

- ・安心して歩ける歩行空間の確保と自転車通行空間の整備

歩行者や自転車利用者に配慮した安全で快適な道路環境の形成や自転車の安全で快適かつ適正な利用を推進するため、有料自転車駐車場の管理運営や放置自転車等の撤去等を実施するとともに、道路空間における歩行者、自転車、自動車の構造的・視覚的な分離を実施



県道名古屋瀬戸線（整備前）



県道名古屋瀬戸線（整備後）

② 都心部自転車対策の推進

・都心部自転車対策の推進

都心部において、歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境づくりのため、地域と連携した放置自転車対策を実施するとともに、民間主体によるコミュニティサイクルの普及を促進

基本方針6 世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます (名古屋市総合計画2028 施策34)

(1) 施策の柱

・世界に誇れる都心のまちづくりの推進

リニア中央新幹線が形成する巨大交流圏の中心都市として、圏域や国の成長をけん引していくため、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進するとともに、名古屋駅・栄・金山地区、また名城・三の丸地区などの拠点機能の強化や民間再開発の促進等により、世界から人や企業をひきつけ、魅力と活力にあふれるまちづくりを進めます。

・名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの強化

名古屋駅や名古屋港、中部国際空港へのアクセス向上により、圏域の発展を支えるため、道路ネットワークを強化し、利便性の向上を図ります。

(2) 現状と課題

・リニア中央新幹線の開業に向け、本市では名古屋駅のターミナル機能強化や公共空間の再整備、民間再開発などまちづくりが進められています。引き続き、交通結節機能の強化や民間再開発を誘導していくとともに、リニア中央新幹線開業後を見据え、圏域の成長をけん引する都心機能強化や民間投資の誘導などをさらに進める必要があります。

・名古屋高速道路及び名古屋環状2号線専用部が全線開通しました。引き続き、名古屋駅と名古屋港・中部国際空港や市域外の拠点都市とのアクセスを支える道路ネットワークを強化し、国際的・広域的な拠点機能・交流機能を高めることが必要です。

(3) 施策を推進する事業

① 世界に誇れる都心のまちづくりの推進

・名古屋駅ターミナル機能の強化

リニア中央新幹線の開業により形成される巨大交流圏の中心拠点にふさわしい交通機能と空間機能を兼ね備えたスーパーターミナルの実現のため、駅へのアクセス性の向上や交通結節機能の強化、ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成を実施

・リニア駅周辺の面的整備

名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい魅力や風格のある駅前空間を形成するため、リニア駅上部空間を、広場利用を主とした公共的空間として活用するとともに、道路の再配置を行いながら周辺の面的整備を実施

・ささしまライブ24地区まちづくり・アクセス改善の推進

国際歓迎・交流拠点の形成をめざした官民連携によるまちづくりを進めるため、土地区画整理事業によるささしまライブ24地区の都市基盤や親水空間の整備を進めるとともに、名古屋駅からささしまライブ24地区・名駅南地区へのにぎわい創出とあわせたアクセス改善を推進

- ・名古屋駅周辺の地域資源を活かしたまちづくりの推進

名古屋駅周辺、ささしまライブ 24 地区、納屋橋・堀川周辺などの地域をつなげ、魅力や回遊性の向上とにぎわい創出を図るため、名駅南地区のウォークアブルなまちづくりや柳橋界限等の地域資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、名古屋駅周辺の自動車交通ネットワークの強化を図るため、笹島線（東側区間）の整備を推進

- ・栄地区まちづくりプロジェクトの推進

都心部の核である栄地区において、多様な主体との連携のもと、にぎわいに満ちた空間づくりを進めるため、栄地区まちづくりプロジェクトを推進

② 名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの強化

- ・名古屋高速道路の利便性の向上

名古屋高速道路のさらなる利便性の向上を図るため、出入口及び渡り線の整備による名古屋駅とのアクセス性の向上を実施

Ⅲ 基本方針に資する主な事業中箇所

Ⅱで示したそれぞれの基本方針に資する事業について、整備計画を策定し計画的かつ効率的に事業を実施しております。

表－１ 整備計画一覧

整備計画名	期間	全体事業費※ ¹
①名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施※ ²	H28～R2	15,175 百万
②名古屋市における総合的な道路の老朽化対策	H29～R3	14,587 百万
③名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備	H29～R3	4,992 百万
④名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備	H26～H30	4,880 百万
⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備	H28～R2	25,260 百万
⑥名古屋市における交通の安全確保と円滑化を図る総合的な踏切道の対策※ ²	H28～R2	9,464 百万
⑦既成市街地における居住環境の向上と防災性の確保	H27～H31	3,676 百万
⑧名古屋市における高速道路 IC（新設）へのアクセス強化に資するまちづくり	H28～R2	2,617 百万
⑨名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備	H31～R5	3,891 百万
⑩名古屋市における無電柱化の推進（防災・安全）（無電柱化推進計画支援）※ ²	H31	987 百万
⑪市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保	R2～R6	1,608 百万
⑫魅力と活力にあふれるまちの実現	H28～R2	7,286 百万
⑬『世界に冠たる NAGOYA』を実現する都心部のまちづくり	R2～R6	15,908 百万
⑭名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備	R3～R7	13,927 百万
⑮名古屋市における総合的な道路の老朽化対策	R4～R8	12,152 百万
⑯名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備	R4～R8	3,767 百万
⑰名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備	R6～R10	2,179 百万
⑱名古屋市における地域強靱化計画に資する道路の整備や防災・減災対策の推進	R7～R11	9,452 百万
⑲市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保	R7～R11	3,117 百万
⑳『世界に冠たる NAGOYA』を実現する都心部のまちづくり（第2期）	R7～R11	18,492 百万
㉑名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備	R8～R12	11,571 百万

※¹ 全体事業費は整備計画の期間内における事業費

※² ①⑥⑩については、個別補助事業への移行に伴い、整備計画期間終了

各整備計画の詳細については次頁以降にお示しします。なお、整備計画内の事業箇所における凡例は以下のとおりとなっております。

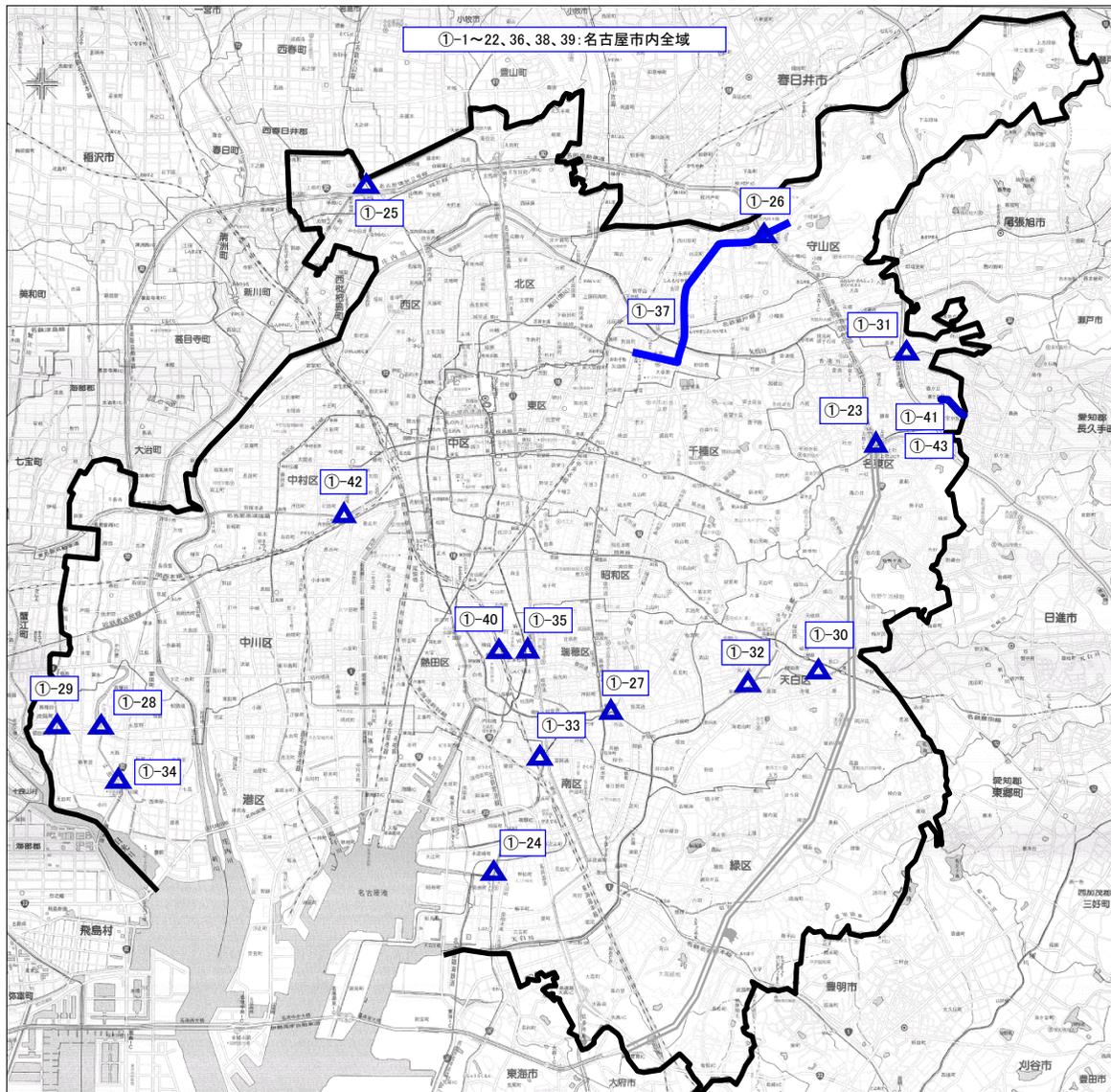
（国）：国道 （県）：県道 （市）：市道 （主）：主要地方道 （都）：都市計画道路

また、今後の都市計画道路の整備にあたっては、現在事業中の整備進捗を図りつつ順次事業に着手するものとしております。詳しくは「未着手都市計画道路の整備について（第2次整備プログラム）」をご参照ください。<http://www.city.nagoya.jp/jigyuu/category/39-4-16-0-0-0-0-0-0-0.html>

整備計画の名称	①名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施（防災・安全）							
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）							
全体事業費 ^{※1}	15,175百万円							
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費*（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
1	(国) 橋梁点検	橋梁点検						29
2	(県) 橋梁点検	橋梁点検						363
3	(市) 橋梁点検	橋梁点検						997
4	(国) 横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						17
5	(主) 横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						69
6	(主) 横断歩道橋点検	横断歩道橋点検						118
7	(国) 門型標識等点検	門型標識等点検						2
8	(県) 門型標識等点検	門型標識等点検						2
9	(市) 門型標識等点検	門型標識等点検						9
10	(県) 大型カルバート点検	大型カルバート点検						2
11	(市) 大型カルバート点検	大型カルバート点検						3
12	(国) 247号ほか	橋梁修繕 10橋						300
13	(主) 名古屋中環状線ほか	橋梁修繕 23橋						600
14	(主) 名古屋環状線ほか	橋梁修繕 327橋						2,230
15	(国) 247号ほか	横断歩道橋修繕						187
16	(主) 名古屋多治見線ほか	横断歩道橋修繕						1,113
17	(主) 名古屋環状線ほか	横断歩道橋修繕						1,478
18	(国) 247号ほか	門型標識等修繕						2
19	(主) 弥富名古屋線ほか	門型標識等修繕						1
20	(主) 山王線ほか	門型標識等修繕						10
21	(主) 名古屋江南線ほか	大型カルバート修繕						6
22	(市) 万場藤前線第10号ほか	大型カルバート修繕						6
23	(主) 名古屋長久手線（上社陸橋）	修繕・耐震補強 L=0.33km						20
24	(国) 247号（港東橋）	修繕・耐震補強 L=0.06km						530
25	(主) 名古屋江南線（新平田橋）	修繕・耐震補強 L=0.04km						110
26	(県) 守山西線（東山跨道橋）	修繕・耐震補強 L=0.06km						480
27	(県) 岩崎名古屋線（落合橋）	修繕・耐震補強 L=0.04km						812
28	(主) 名古屋十四山線（新東福橋）	修繕・耐震補強 L=0.10km						511

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

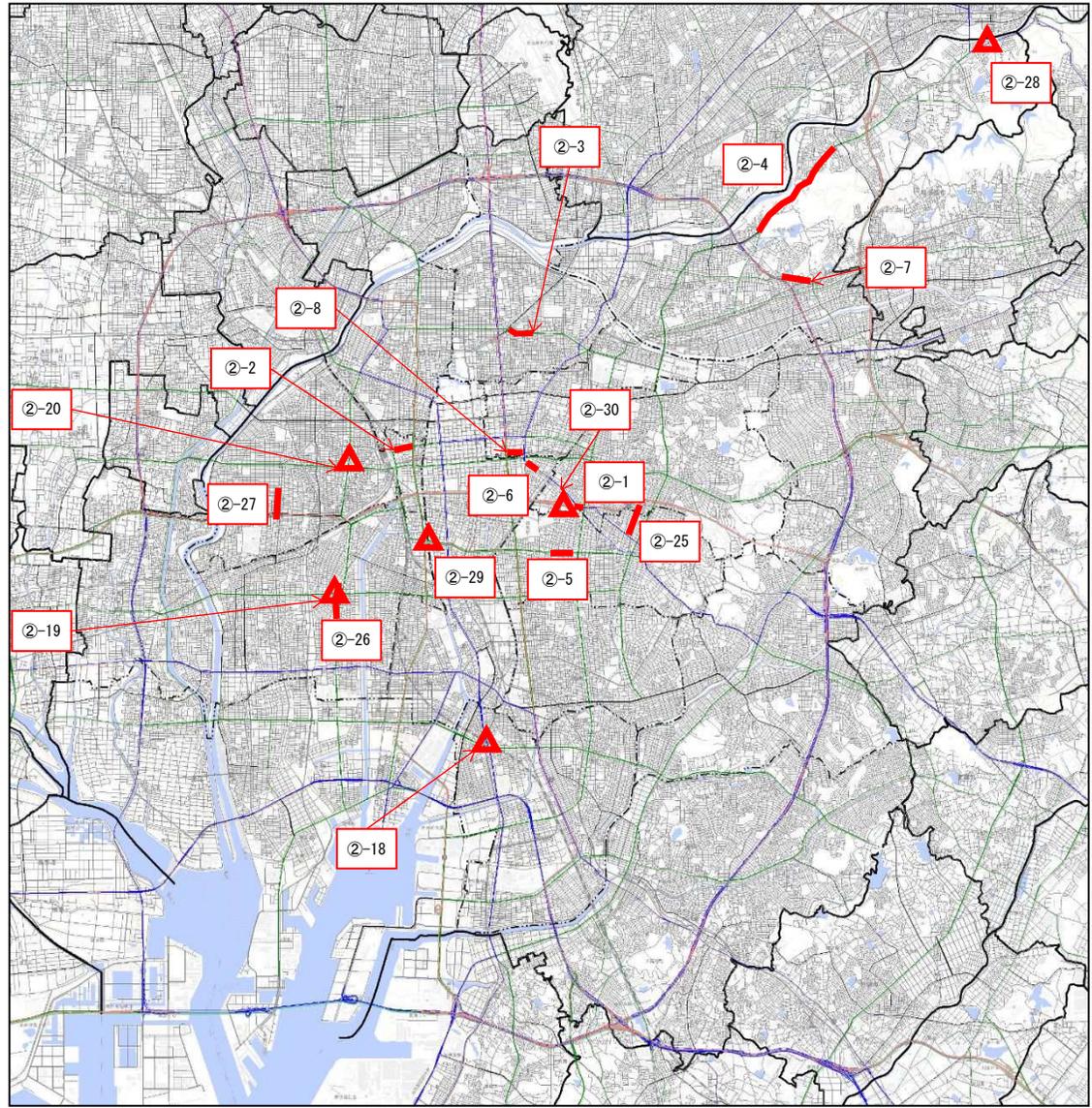
整備計画の名称	①名古屋市における道路施設の適確なメンテナンスサイクルの実施（防災・安全）
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）



整備計画の名称	②名古屋市における総合的な道路の老朽化対策							
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 (5年間)							
全体事業費※	14,587百万円							
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間 (年度)					全体事業費※ (百万円)
			H29	H30	H31	R02	R03	
1	(国) 153号ほか(1箇所)	舗装修繕 L= 3.3km						306
2	(主) 名古屋津島線ほか(1箇所)	舗装修繕 L=11.0km						1,056
3	(主) 名古屋環状線ほか(1箇所)	舗装修繕 L= 5.1km						568
4	(主) 名古屋多治見線ほか(2箇所)	舗装修繕 L=34.1km						2,600
5	(主) 山王線ほか(2箇所)	舗装修繕 L=26.8km						1,900
6	(国) 153号	舗装修繕 L= 0.9km						95
7	(主) 名古屋中環状線ほか	舗装修繕 L=15.9km						1,073
8	(市) 錦通ほか	舗装修繕 L=55.8km						4,522
9	(国) 路面性状調査	路面性状調査						3
10	(県) 路面性状調査	路面性状調査						42
11	(市) 路面性状調査	路面性状調査						125
12	(国) 路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						5
13	(県) 路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						34
14	(市) 路面陥没危険箇所補修	路面下空洞補修						51
15	(国) 路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						7
16	(県) 路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						47
17	(市) 路面陥没危険箇所調査	路面下空洞調査						71
18	(国) 247号ほか	道路附属物等修繕 (大型構造物以外)						5
19	(主) 弥富名古屋線ほか	道路附属物等修繕 (大型構造物以外)						55
20	(主) 名古屋環状線ほか	道路附属物等修繕 (大型構造物以外)						110
21	(国) 道路附属物等点検	道路附属物等点検 (大型構造物以外)						36
22	(県) 道路附属物等点検	道路附属物等点検 (大型構造物以外)						472
23	(市) 道路附属物等点検	道路附属物等点検 (大型構造物以外)						1,264
24	(市) 道路附属物等点検	自動車駐車場専用橋点検						4
25	(主) 関田名古屋線	道路排水施設改良						26
26	(主) 名古屋環状線ほか	道路排水施設改良						33
27	(主) 名古屋環状線ほか	道路排水施設改良						45
28	(国) 155号	道路情報装置改良						10

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

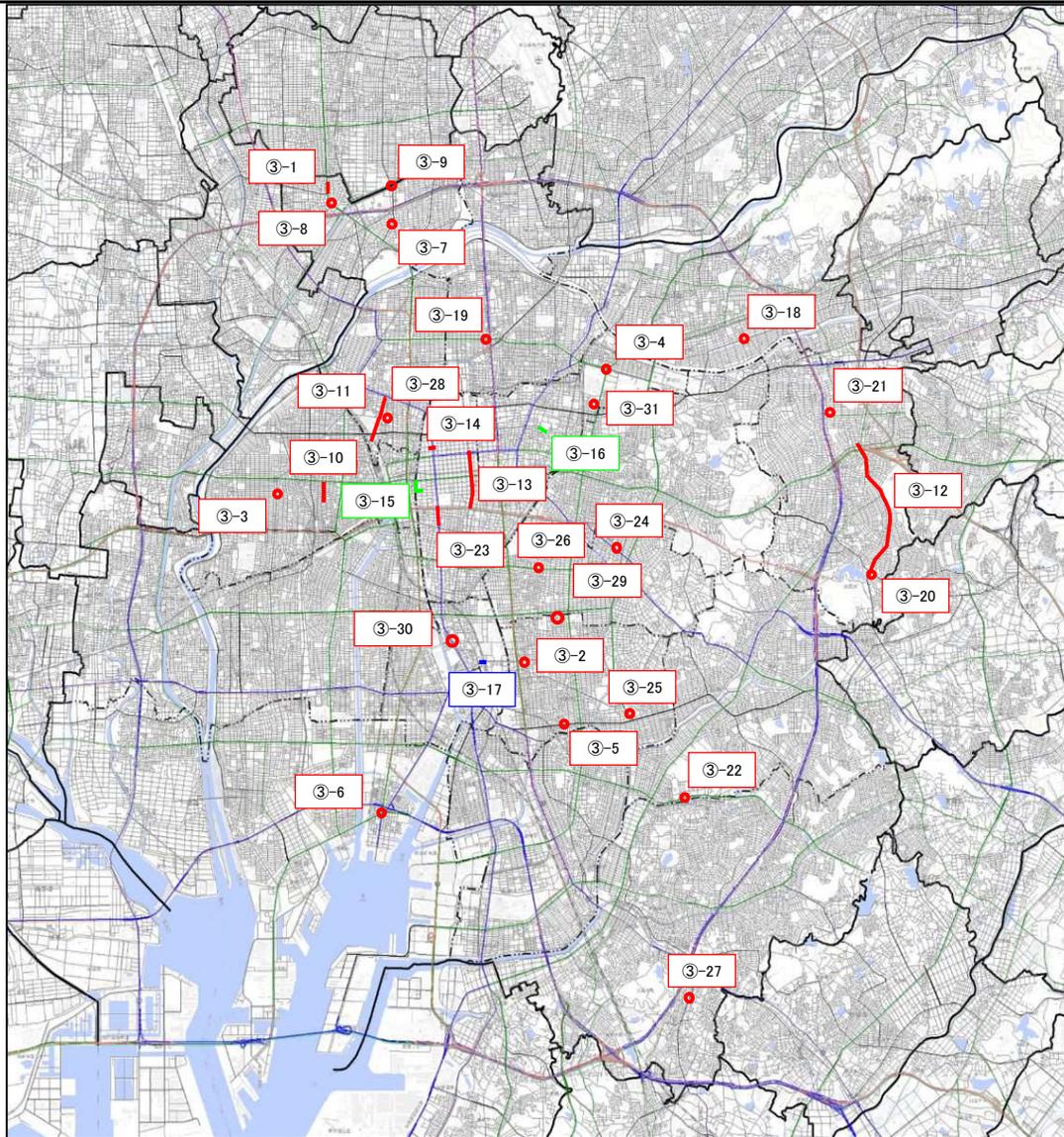
整備計画の名称	②名古屋市における総合的な道路の老朽化対策
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 (5年間)



整備計画の名称	③名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備							
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 (5年間)							
全体事業費※	4,992百万円							
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間 (年度)					全体事業費※ (百万円)
			H29	H30	H31	R02	R03	
1	(市) 平田第3号線ほか	カラー舗装						250
2	(市) 豆田町線ほか	カラー舗装						500
3	(市) 中村稲永線ほか	カラー舗装等						20
4	(主) 名古屋環状線ほか	カラー舗装等						250
5	(県) 岩崎名古屋線ほか	カラー舗装等						20
6	(国) 154号ほか	カラー舗装等						10
7	(市) 平田第1号線ほか	標識整備 4箇所						9
8	(主) 名古屋江南線ほか	標識整備 13箇所						31
9	(県) 名古屋中環状線ほか	標識整備 9箇所						22
10	(市) 名西南北第5号線ほか	歩道整備 11.3km						980
11	(市) 西藪下輪之内町線ほか	自転車走行空間 19km						380
12	(県) 浅田名古屋線ほか	自転車走行空間 3km						60
13	(市) 久屋大通線ほか (都心地区)	自転車駐車場 9,000台						650
14	(市) 京町通ほか	自転車駐車場 870台						55
15	(市) 木挽町通ほか1路線	電線共同溝 0.32km						50
16	(市) 平田黒門町線	電線共同溝 0.34km						90
17	(都) 御田線	街路築造 0.13km						250
18	(市) 野萩線ほか	標識整備 高速道路ナンバリング						58
19	(主) 名古屋環状線ほか	標識整備 高速道路ナンバリング						162
20	(県) 浅田名古屋線ほか	標識整備 高速道路ナンバリング						35
21	(国) 363号	標識整備 高速道路ナンバリング						5
22	(主) 東海橋線ほか	交差点改良 5箇所						200
23	(国) 19号ほか	自転車駐車場 680台						34
24	(国) 153号ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策 (防護柵、路面標示等の整備)						3
25	(主) 関田名古屋線ほか	未就学児等の移動経路等の安全対策 (歩道、防護柵、路面標示等の整備)						40

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	③名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備
整備計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度 (5年間)



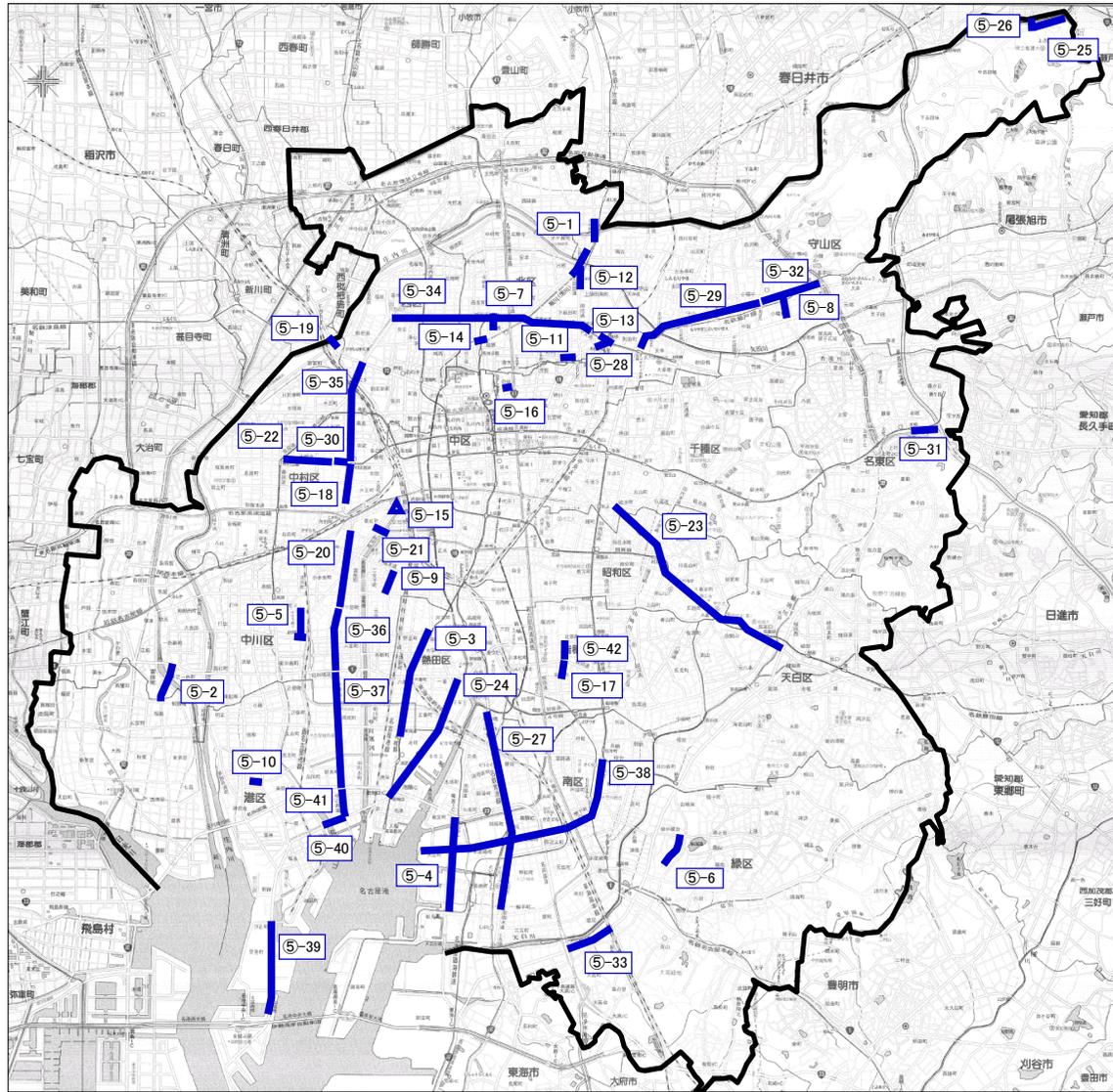
整備計画の名称		⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）						
整備計画の期間		平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）						
全体事業費※		25,260百万円						
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
1	(都) 東志賀町線（水分橋）	街路築造 L=0.82km						4,545
2	(都) 万場藤前線（正江橋）	街路築造 L=0.68km						5,431
3	(都) 江川線（南部工区）	街路築造 L=2.98km						1,200
4	(都) 大津町線	街路築造 L=2.15km						1,661
5	(都) 土古町線ほか1	街路築造 L=0.83km						524
6	(都) 古鳴海停車場線（乙子山工区）	街路築造 L=0.93km						309
7	(都) 光音寺内田橋線	街路築造 L=0.48km						202
8	(都) 小幡西山線	街路築造 L=0.52km						1,133
9	(都) 日置中野新町線	街路築造 L=1.22km						425
10	(都) 戸田荒子線（高木工区）	街路築造 L=0.38km						1,200
11	(都) 大杉町線	街路築造 L=0.50km						47
12	(都) 東志賀町線ほか1（三階橋）	街路築造 L=1.27km						2,212
13	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）	街路築造 L=0.34km						40
14	(都) 東志賀町線（電線共同溝）	街路築造 L=0.32km						285
15	(主) 愛知名駅南線（運河橋）	橋梁架替（耐震） L=0.04km						2,403
16	(都) 新出来町線（電線共同溝）	街路築造 L=0.40km						520
17	(都) 高田町線	街路築造 L=0.34km						1,001
18	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（黄金通工区）	街路築造 L=0.98km						731
19	(都) 伏見町線（枇杷島橋）	街路築造 L=0.34km						150
20	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（五月通工区）	街路築造 L=2.09km						528
21	(都) 小栗橋線（小栗橋）	街路築造 L=0.30km						80
22	(都) 広小路線（電線共同溝）（太閤通工区）	街路築造 L=1.20km						25
23	(都) 飯田線（電線共同溝）	街路築造 L=5.30km						68
24	(都) 梅ノ木線（電線共同溝）（千年工区）	街路築造 L=3.30km						59

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

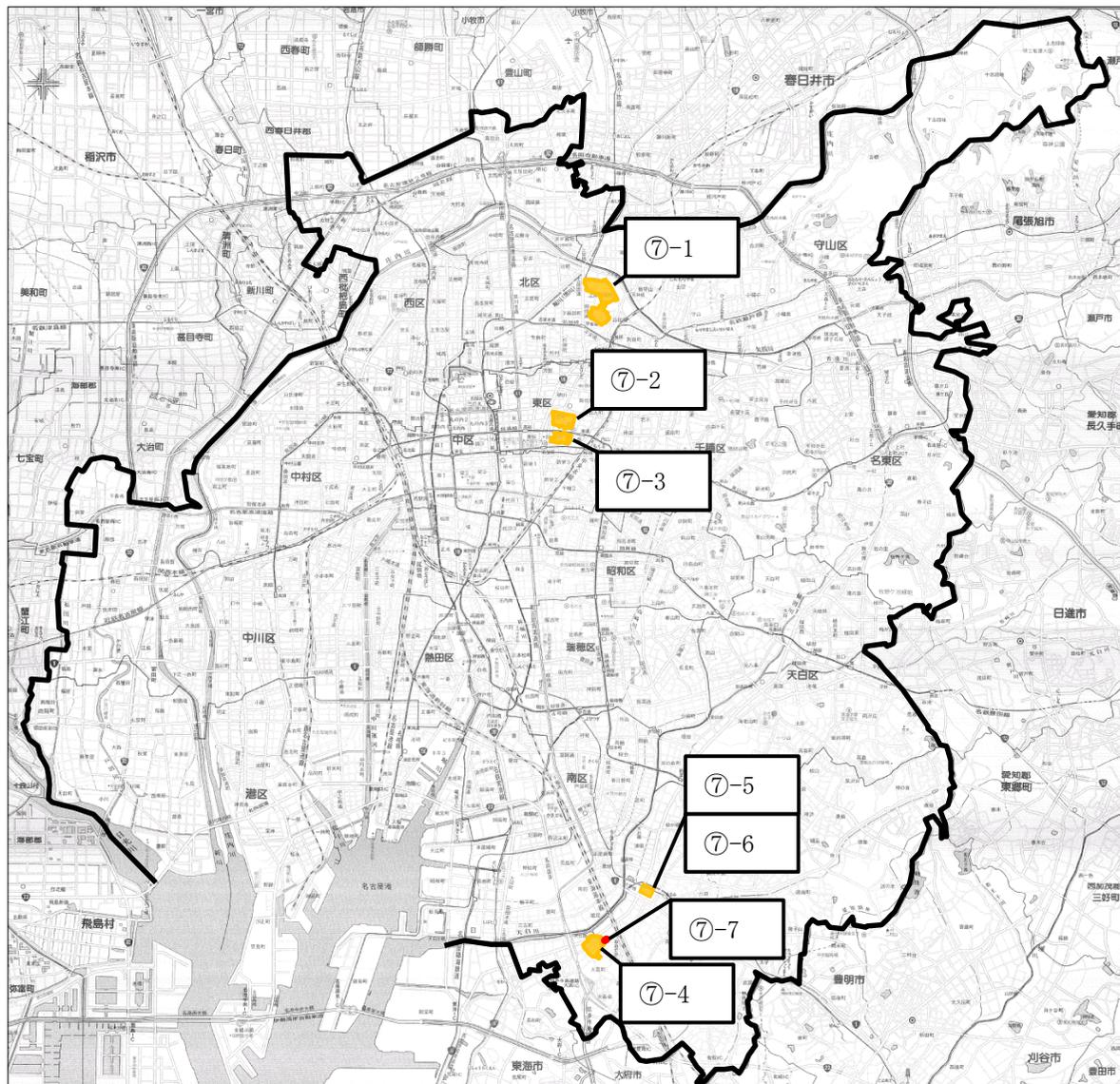
整備計画の名称		⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）						
整備計画の期間		平成28年度～令和2年度（5年間）						
全体事業費※		25,260百万円						
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					全体事業費※（百万円）
			H28	H29	H30	H31	R2	
25	(都) 東谷線（電線共同溝）	街路築造 L=1.40km						18
26	(都) 志段味田代町線（電線共同溝）	街路築造 L=0.20km						3
27	(都) 伏見町線（電線共同溝）	街路築造 L=4.50km						58
28	(都) 葵町線（電線共同溝）	街路築造 L=0.20km						3
29	(都) 守山本通線（電線共同溝）（守山工区）	街路築造 L=3.10km						40
30	(都) 広小路線（電線共同溝）（稲葉地本通工区）	街路築造 L=2.20km						29
31	(都) 広小路線（電線共同溝）（本郷工区）	街路築造 L=0.80km						10
32	(都) 守山本通線（電線共同溝）（小幡工区）	街路築造 L=1.40km						18
33	(都) 高針大高線（電線共同溝）	街路築造 L=1.40km						18
34	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（北部工区）	街路築造 L=4.68km						60
35	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（栄生工区）	街路築造 L=2.20km						28
36	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（太平通工区）	街路築造 L=1.19km						15
37	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（昭和橋通工区）	街路築造 L=2.60km						59
38	(都) 名古屋環状線（電線共同溝）（笠寺工区）	街路築造 L=5.20km						76
39	(都) 梅ノ木線（電線共同溝）（野跡工区）	街路築造 L=1.80km						23
40	(都) 梅ノ木線（電線共同溝）（築三町工区）	街路築造 L=0.50km						6

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

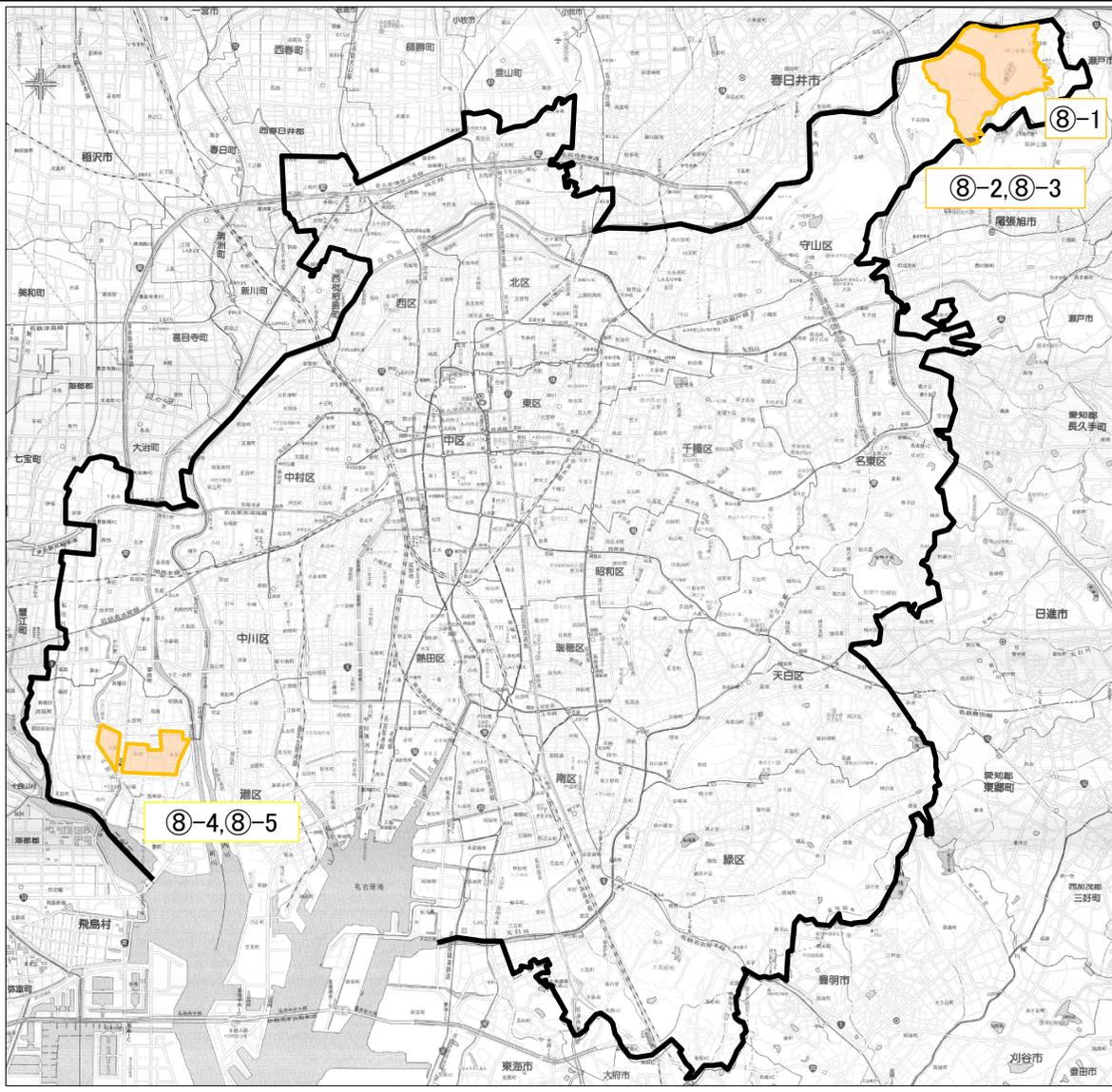
整備計画の名称	⑤名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）



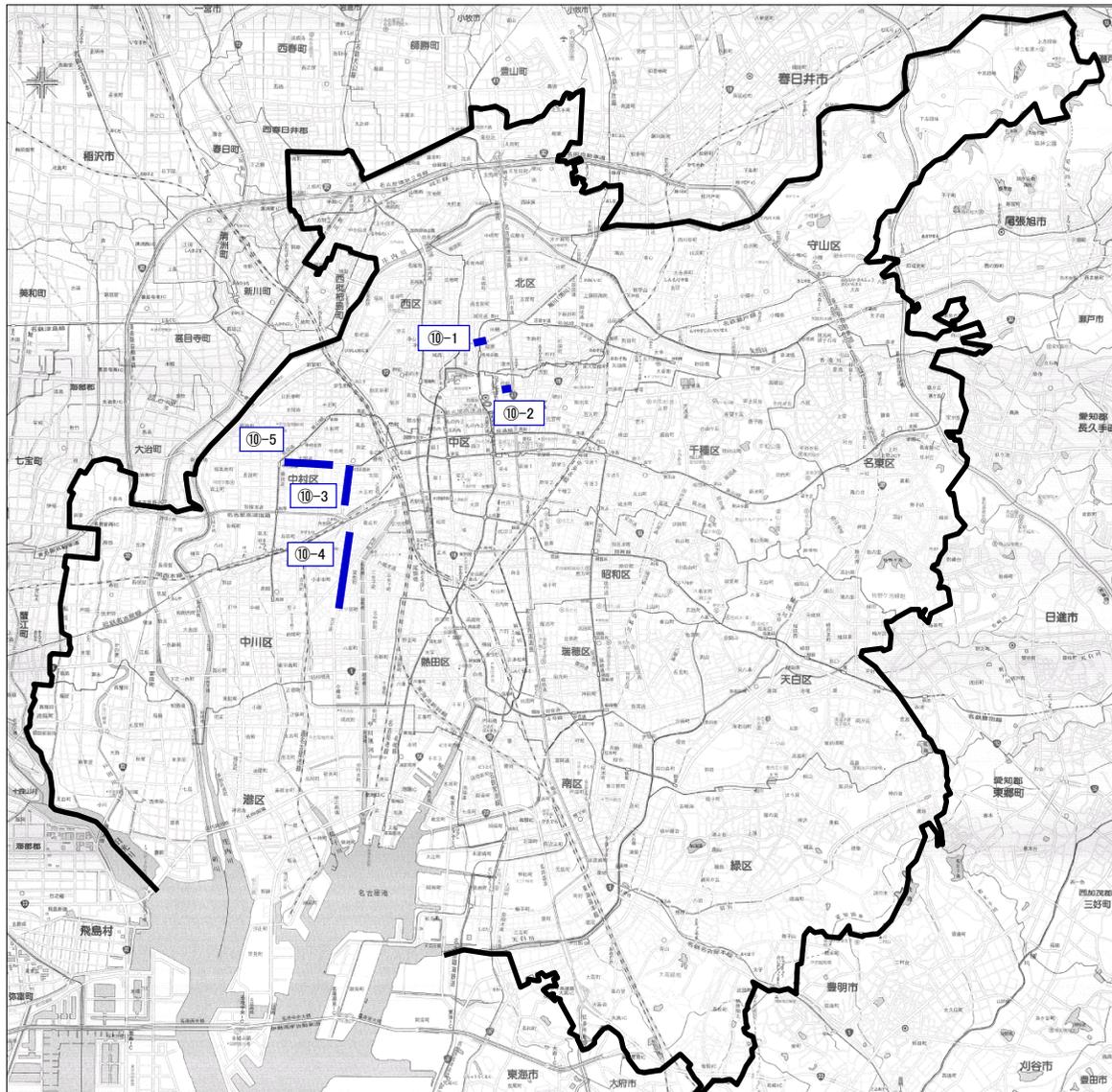
整備計画の名称	⑦既成市街地における居住環境の向上と防災性の確保
整備計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)



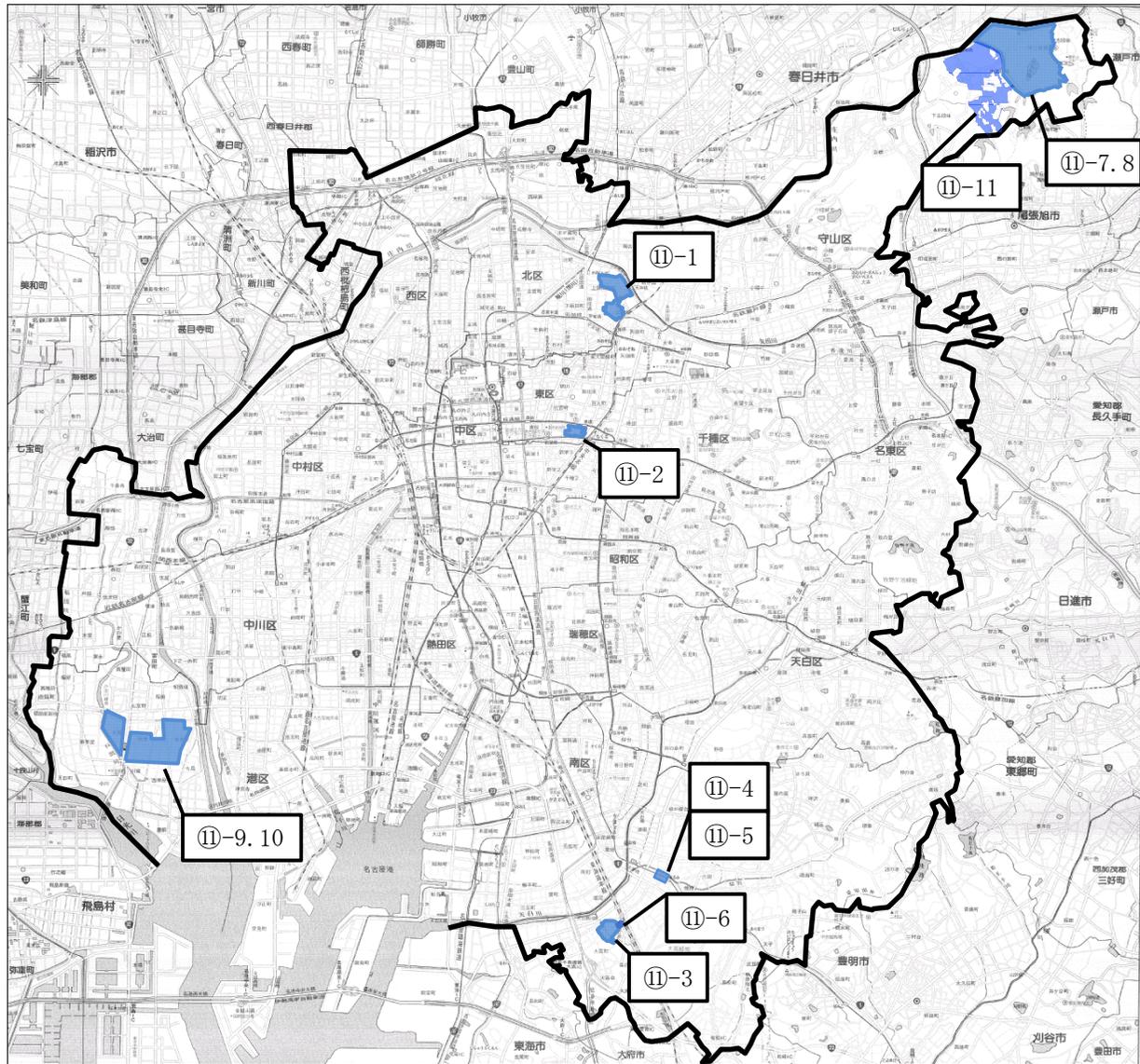
整備計画の名称	⑧名古屋市における高速道路IC(新設)へのアクセス強化に資するまちづくり
整備計画の期間	平成28年度～令和2年度(5年間)



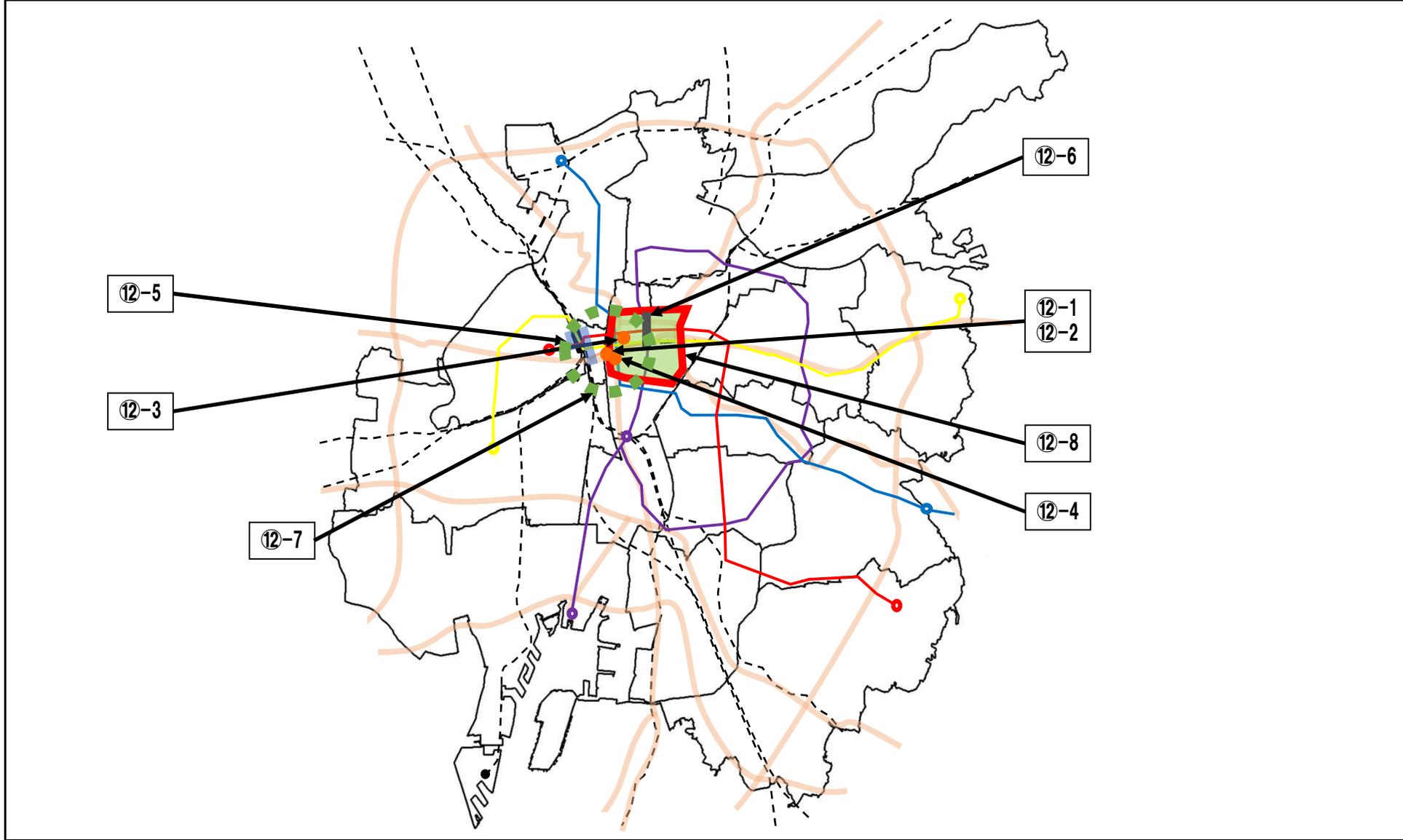
整備計画の名称	⑩名古屋市における無電柱化の推進（防災・安全）（無電柱化推進計画支援）
整備計画の期間	平成31年度（1年間）



整備計画の名称	⑪市街地の整備・再生による居住環境の向上と防災性の確保
整備計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)



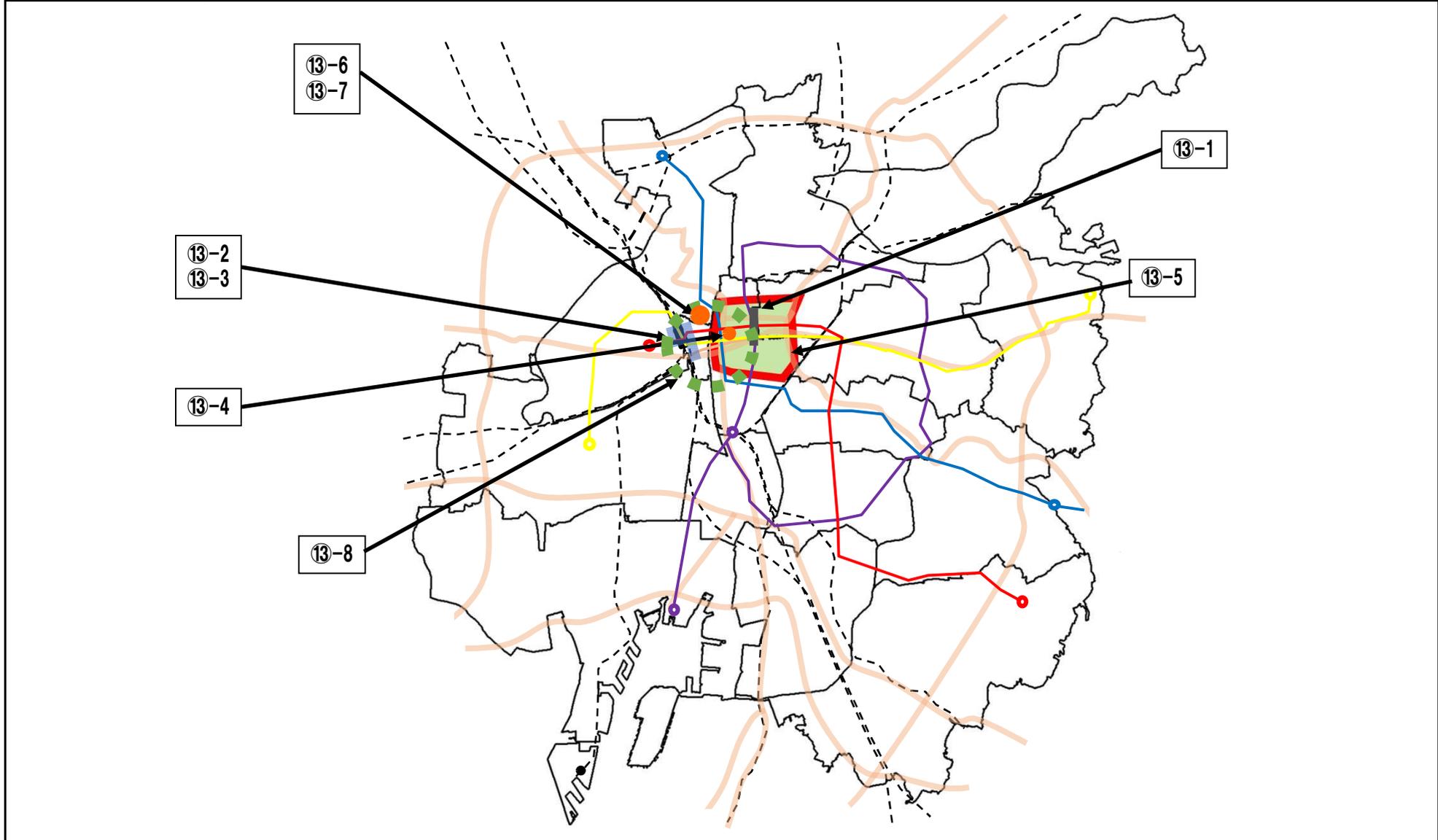
整備計画の名称	⑫魅力と活力にあふれるまちの実現
整備計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度 (5年間)



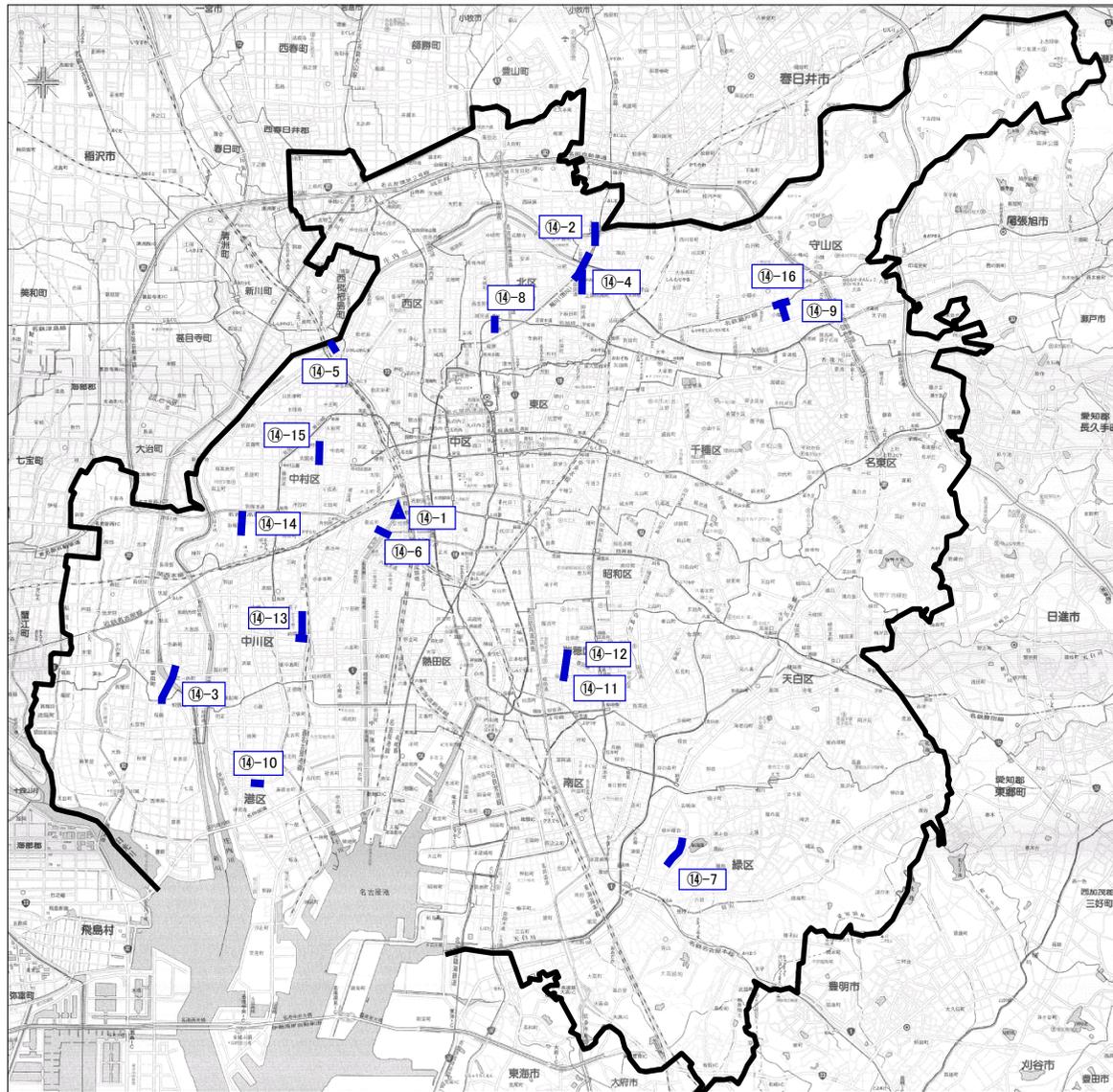
整備計画の名称	⑬『世界に冠たるNAGOYA』を実現する都心部のまちづくり									
整備計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）									
全体事業費※	15,908百万円									
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					5か年事業費 （百万円）	全体事業費 （百万円）	期間
			R2	R3	R4	R5	R6			
1	久屋大通公園地区官民連携型賑わい拠点創出事業	公園 地区面積：約5.5ha						1,481	2,797	2017～2020
2	名古屋駅周辺地区都市再生総合整備事業	計画コアーネット、都市基盤施設の整備						10,167	20,959	2016～2030
3	名古屋駅周辺地区都市・地域交通戦略推進事業	都市基盤施設の整備						632	19,019	2020～2037
4	錦二丁目7番地区第一種市街地再開発事業	住宅、商業、駐車場 地区面積：約0.7ha						2,615	3,040	2017～2021
5	栄・伏見・大須地区都市再生整備計画事業（ウォークアブル推進事業）	高質空間形成施設（緑化施設等） 地域生活基盤施設（自転車駐車場） 地区面積：571ha						277	874	2019～2029
6	街なみ環境整備事業（四間道・那古野地区）	歴史的風致形成建造物整備、電線類地中化、道路美装化等						71	1,298	2024～2032
7	街なみ環境整備事業（四間道・那古野地区）	街なみ整備助成事業						4	64	2022～2032
8	都心地区都市・地域交通戦略推進事業	整備計画作成、公共交通に関する施設の整備、歩行空間の整備						661	19,710	2019～2036

※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	⑬『世界に冠たるNAGOYA』を実現する都心部のまちづくり
整備計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度 (5年間)



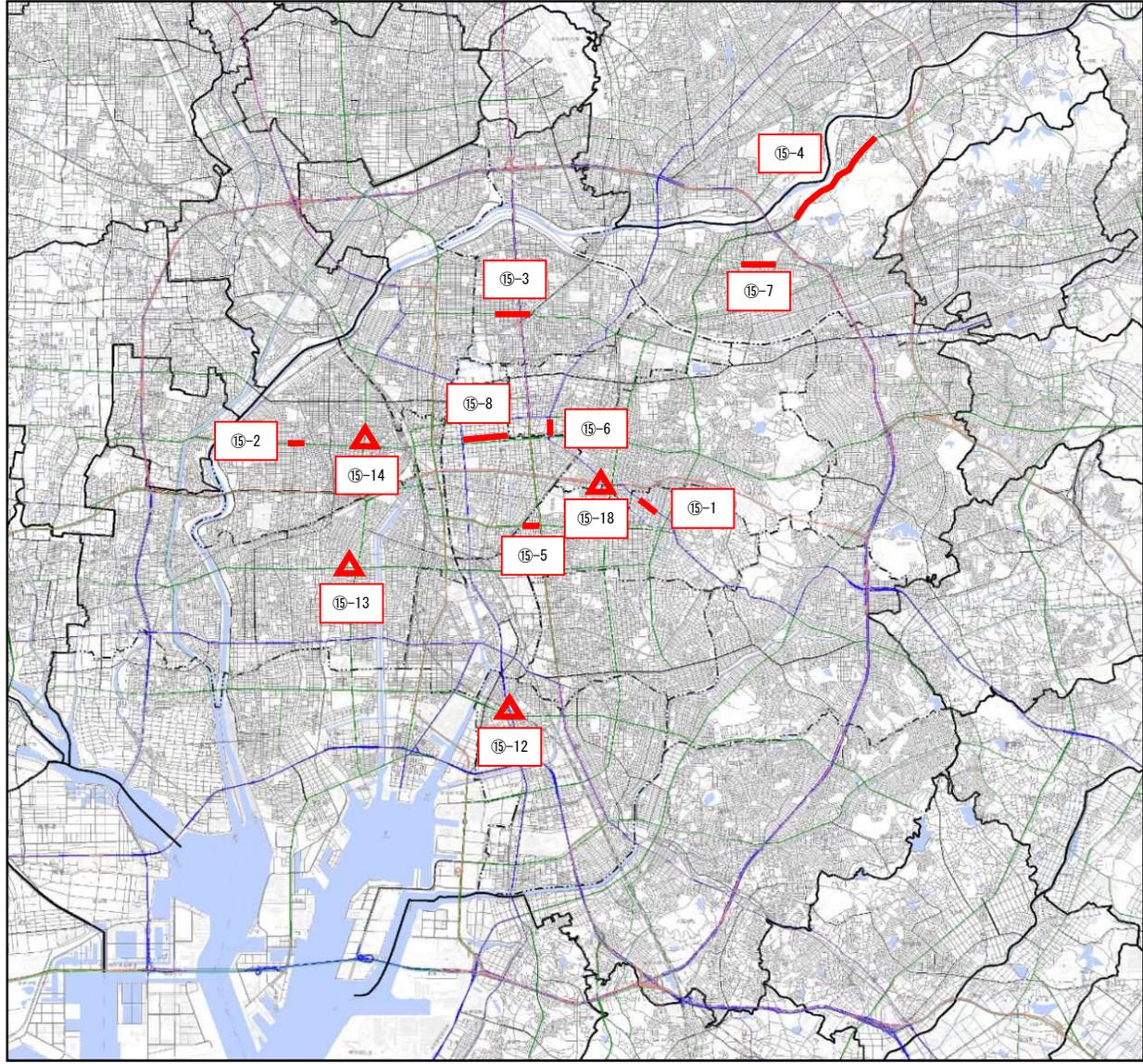
整備計画の名称	⑭名古屋市における震災に強い市街地形成に向けた道路の整備（防災・安全）
整備計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度（5年間）



整備計画の名称		⑮名古屋市における総合的な道路の老朽化対策（防災・安全）								
整備計画の期間		令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）								
全体事業費※		12,152百万円								
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間（年度）					5か年事業費 （百万円）	全体事業費 （百万円）	期間
			R04	R05	R06	R07	R08			
1	（国）153号ほか（1緊）	舗装修繕 L=2.0km						191	191	2023～2026
2	（主）名古屋津島線ほか（1緊）	舗装修繕 L=5.0km						475	475	2023～2026
3	（主）名古屋環状線ほか（1緊）	舗装修繕 L=7.0km						750	750	2023～2026
4	（主）名古屋多治見線ほか（2緊）	舗装修繕 L=23.9km						1,949	1949	2022～2026
5	（主）山王線ほか（2緊）	舗装修繕 L=20.4km						1,702	1702	2022～2026
6	（国）153号	舗装修繕 L=1.1km						123	123	2023～2026
7	（主）名古屋中環状線ほか	舗装修繕 L=12.1km						874	874	2023～2026
8	（市）錦通ほか	舗装修繕 L=46.5km						3,897	3897	2022～2026
9	（国）路面性状調査	路面性状調査						4	4	2022～2026
10	（県）路面性状調査	路面性状調査						40	40	2022～2026
11	（市）路面性状調査	路面性状調査						95	95	2022～2026
12	（国）247号ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						5	5	2022～2026
13	（主）弥富名古屋線ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						55	55	2022～2026
14	（主）名古屋環状線ほか	道路附属物等修繕（大型構造物以外）						110	110	2022～2026
15	（国）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						36	36	2022～2026
16	（県）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						472	472	2022～2026
17	（市）道路附属物等点検	道路附属物等点検（大型構造物以外）						1,264	1264	2022～2026
18	（市）若宮大通	道路附属物等修繕（自動車駐車場専用橋）						80	80	2022～2026
19	（市）道路附属物等点検	道路附属物等点検（自動車駐車場専用橋）						5	5	2024
20	（主）名古屋長久手線ほか	自動車駐車場の修繕						15	15	2025～2026
21	千種町馬走線	自動車駐車場の修繕						10	10	2025～2026

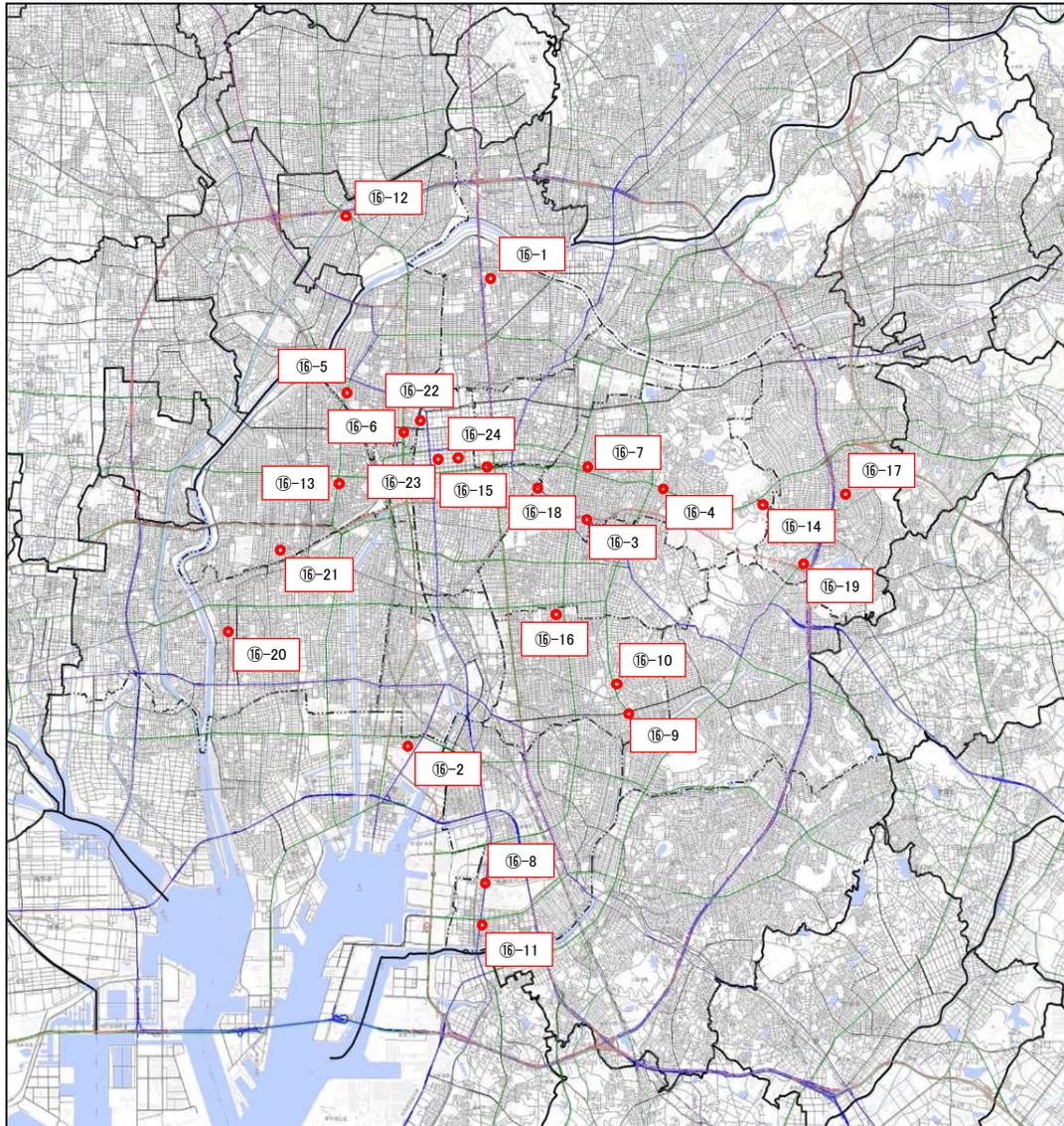
※全体事業費は整備計画の期間内における事業費

整備計画の名称	⑮名古屋市における総合的な道路の老朽化対策
整備計画の期間	令和4年度 ～ 令和8年度 (5年間)

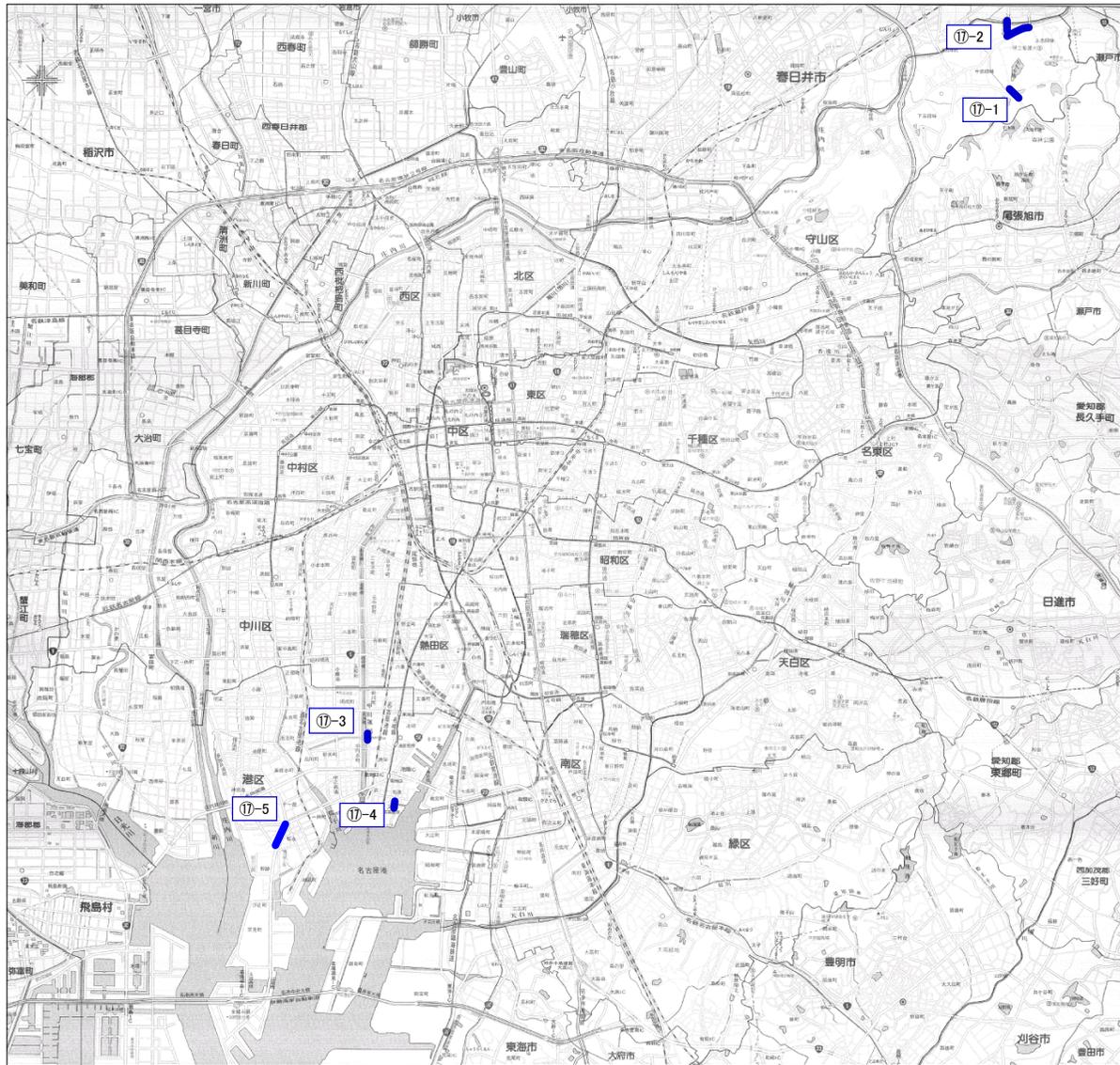


整備計画の名称		⑩名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備								
整備計画の期間		令和04年度 ～ 令和08年度 (5年間)								
全体事業費※		3,767百万円								
番号	事業箇所	事業内容	事業実施期間 (年度)					5か年事業費 (百万円)	全体事業費 (百万円)	期間
			R04	R05	R06	R07	R08			
1	(市) 長喜安井町線第2号線ほか	通学路の路肩カラー舗装等						75	75	2022～2026
2	(市) 津金辰巳町線ほか	生活道路の交差点カラー舗装等						100	100	2022～2026
3	(国) 153号ほか	事故危険箇所の交通安全対策 5箇所						20	20	2022～2026
4	(主) 名古屋長久手線ほか	事故危険箇所の交通安全対策 13箇所						25	25	2022～2026
5	(主) 名古屋環状線ほか	事故危険箇所の交通安全対策 7箇所						25	25	2022～2026
6	(県) 小口名古屋線ほか	事故危険箇所の交通安全対策 6箇所						15	15	2022～2026
7	(市) 錦通線ほか	事故危険箇所の交通安全対策 5箇所						10	10	2022～2026
8	(国) 247号ほか	交差点改良 2箇所						100	100	2022～2026
9	(主) 関田名古屋線ほか	交差点改良 3箇所						150	150	2022～2026
10	(市) 下山町中線ほか	歩道整備 7.2km						750	750	2022～2026
11	(国) 247号ほか	標識整備 10箇所						30	30	2022～2026
12	(主) 名古屋江南線ほか	標識整備 45箇所						128	128	2022～2026
13	(主) 名古屋環状線ほか	標識整備 36箇所						107	107	2022～2026
14	(県) 岩藤名古屋線ほか	標識整備 21箇所						61	61	2022～2026
15	(市) 錦通線ほか	標識整備 159箇所						470	470	2022～2026
16	(市) 中山汐路町線ほか	生活道路のエリア対策等						40	40	2022～2026
17	(市) 東一社第55号線ほか	未就学児等の移動経路等の安全 対策 (歩道等の整備)						20	20	2022
18	(国) 153号ほか	通学路の交通安全の更なる確保 (防護柵等の整備)						1	1	2022

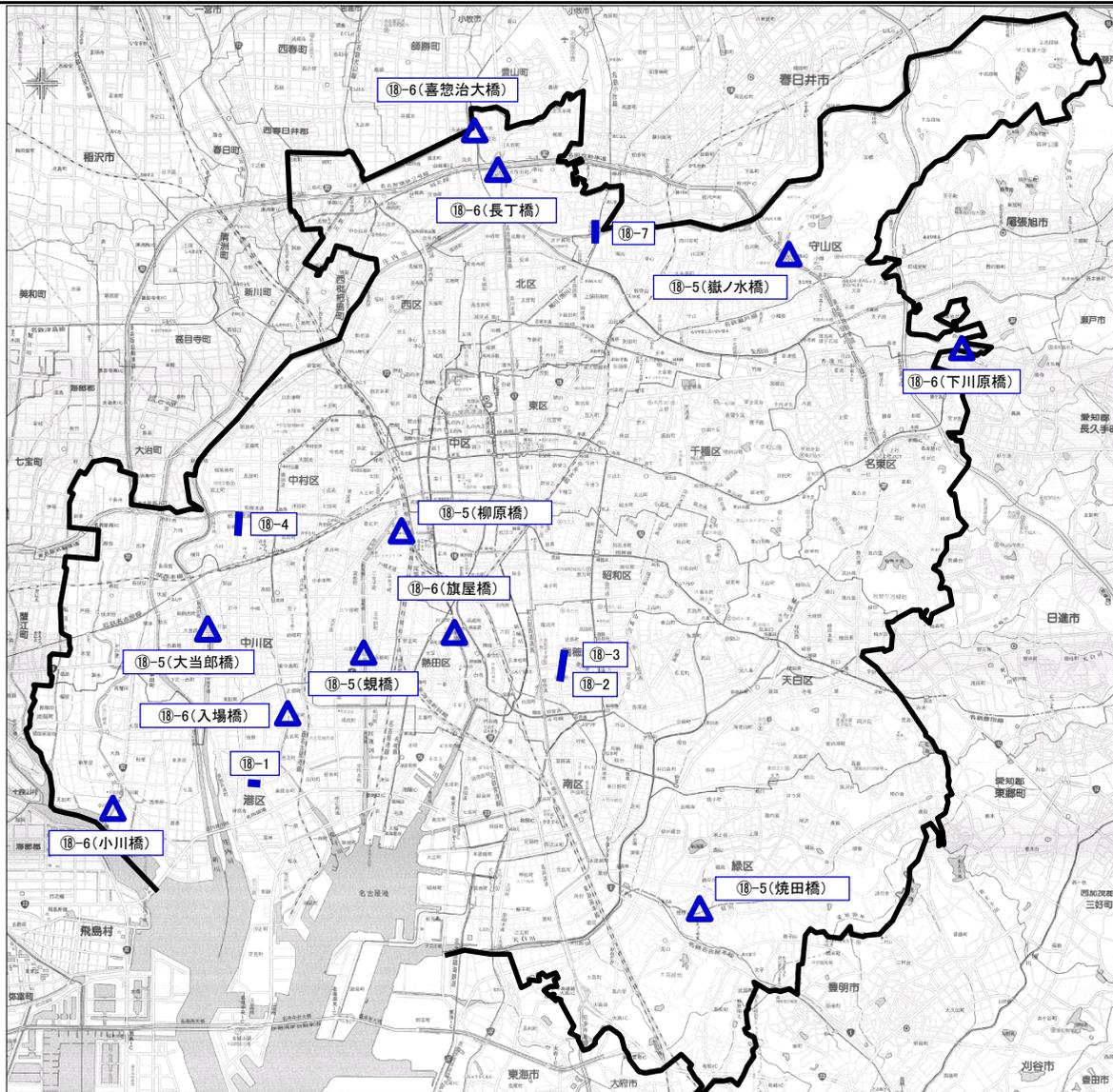
整備計画の名称	⑩名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備
整備計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）



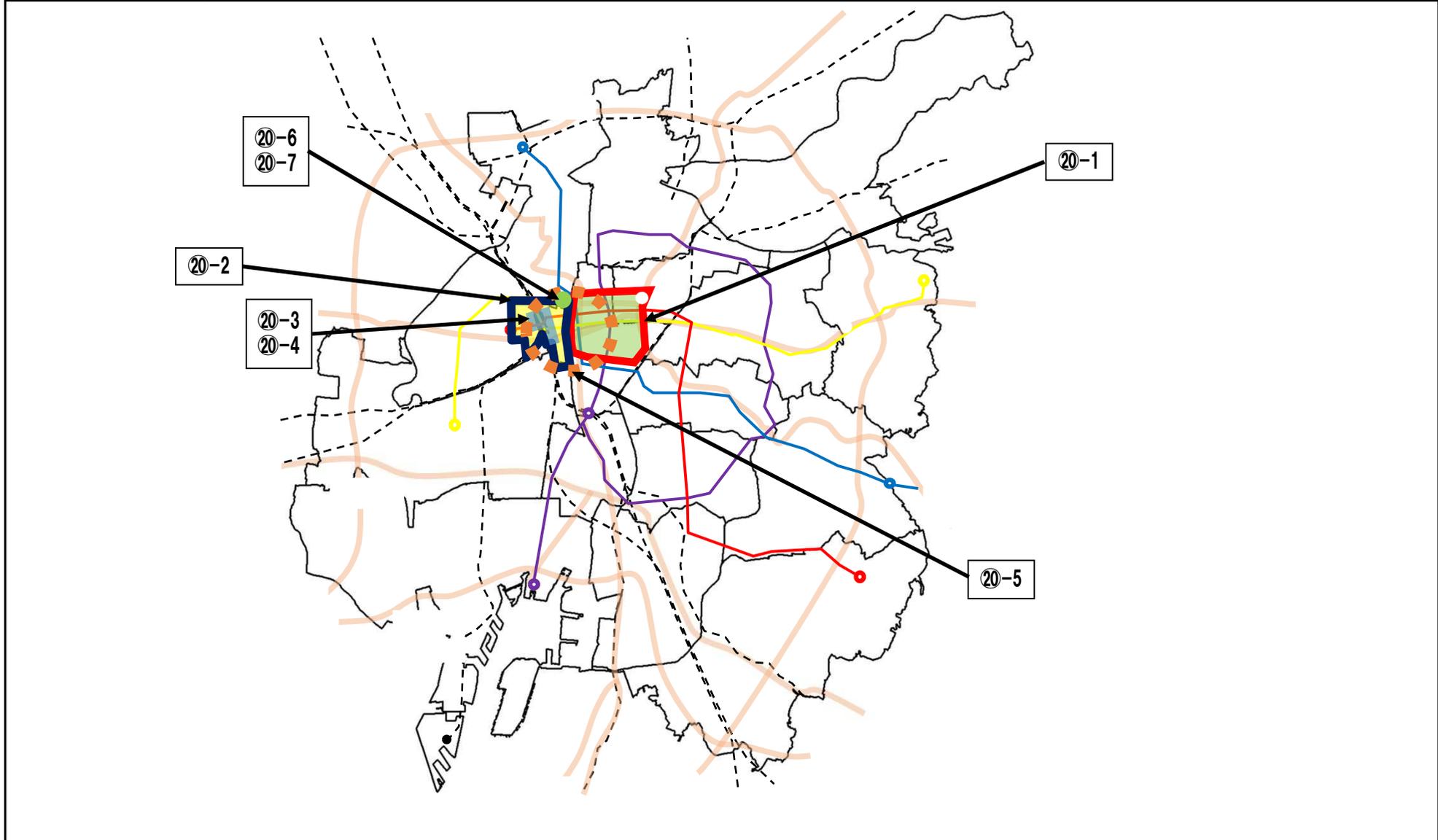
整備計画の名称	⑩名古屋都市圏の活力を高め広域交流を支える道路ネットワークの整備
整備計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度 (5年間)



整備計画の名称	⑩名古屋市における地域強靱化計画に資する道路の整備や防災・減災対策の推進
整備計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度 (5年間)



整備計画の名称	⑳『世界に冠たるNAGOYA』を実現する都心部のまちづくり（重点）（第2期）
整備計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度（5年間）



IV 指定都市高速道路事業

名古屋高速道路の主な取り組みについて、以下に概要をお示しします。

(1) 名古屋駅とのアクセス性向上

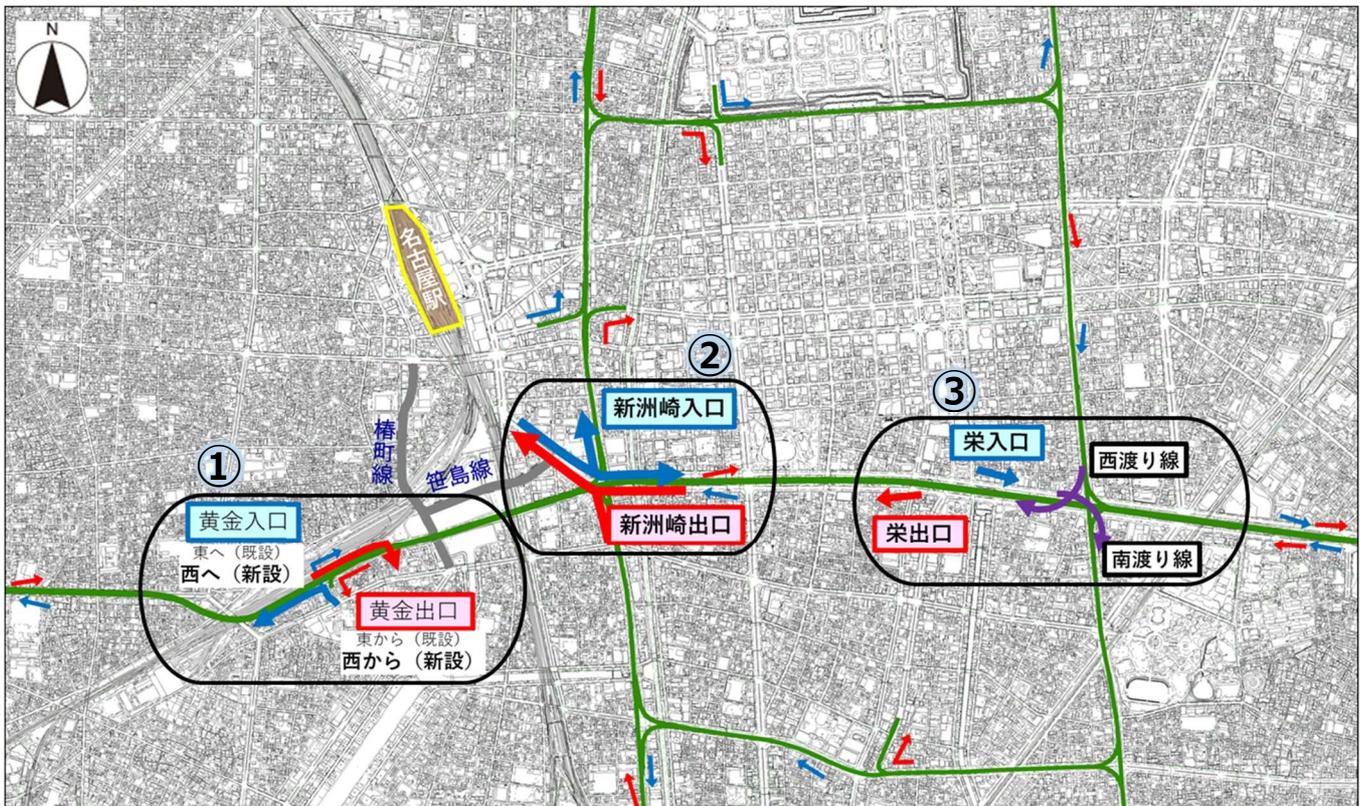
■アクセス性向上の取り組み

- ① (仮称) 新黄金出入口の新設
- ② (仮称) 新洲崎出入口の新設
- ③ (仮称) 栄出入口、丸田町 JCT 西渡り線・南渡り線の新設

○整備効果

- ・名古屋駅とのよりスムーズなアクセス性向上
- ・都心部における自動車の集中緩和
- ・名古屋駅から中部国際空港を始めとする南方面へのアクセス性向上
- ・都心環状線の渋滞解消

<アクセス向上の考え方>



(2) 大規模修繕工事

○古い基準で設計された箇所、今後、重大な損傷や第三者に被害を及ぼす損傷に進展し、通行止め等が発生する恐れのある箇所への新たな対策として、主要構造物全体に対して計画的に大規模修繕を実施する。
○大規模修繕の実施により、巨額な費用が掛かる大規模な更新を回避し、構造物の長寿命化を図る。

■大規模修繕計画

区分	路線名	延長	概算工事費	事業実施予定年度
大規模修繕※1	高速都心環状線	約37.9km	約1,250億円※2	平成27～41年度 (2015～2029年度)
	高速1号楠線			
	高速2号東山線			
	高速3号大高線			
	高速5号万場線			

※1：主要構造物全体を大規模に作り替えることはせず、主要構造物全体に対して大規模な補強・補修を実施することにより、構造物の性能を向上すること。

※2：概算工事費の他、別途諸経費が必要となります。

■大規模修繕対象箇所

